

てつほく通信

第45号 平成29年(2017年)7月発行
 手稲鉄北まちづくりセンター
 手稲区曙7条3丁目6-22
 TEL 684-0048 FAX 684-0657



このてつほく通信は、札幌市ホームページ「手稲区・手稲鉄北まちづくりセンター」からもご覧いただけます。

“笑顔”あふれるまちに



5月5日(こどもの日)、手稲稲山連合町内会が主催する「えがおのひろば」が集会施設「プラザ717」で開催され、たくさんの親子連れが訪れました。参加者は、なわとびやコマ回し、シャボン玉などを楽しんだ後、五目ご飯を仲良く食べました。今年度も“笑顔”あふれるまちにしたいですね。

今年も手稲土功川美化活動で河川周辺をきれいに！

7月1日(土曜日)午前9時から、地域住民約150人が参加して、手稲土功川の河川敷や橋上などの清掃活動を行いました。【手稲鉄北まちづくり協議会】



手稲鉄北地区 今年度の取り組み

手稲鉄北地区における平成29年度の主な取り組みをいくつかご紹介します。地域の皆さんにご参加いただきたい行事は今後、町内会の回覧版などでお知らせします。

4～6月

早朝一斉街頭啓発→

手稲鉄北地区では9か所の交差点で、町内会や交通安全団体などに所属する住民が交通安全を呼びかけました【4月】



←花植え活動

手稲鉄北地区の各所において、歩道にある植樹桧に花苗を植える活動が行われました【5月】



←青パト隊出動

毎月1回の定期巡回や不定期による夜間巡回など、今年度も青色回転灯車によるパトロール活動を開始しました【通年】



自転車交通安全街頭啓発↓

北海道科学大学の学生と地域住民が交通量の多い交差点で、自転車マナーの街頭啓発を行いました【6月】



小学生と花植え

→

手稲鉄北小学校6年生児童と地域住民が協力して花苗を植え、学校周辺の歩道を色鮮やかに飾りました【6月】



子どもの居場所 ☆絆ランド →

手稲山口小学校の体育館を会場に、約450人の子どもたちと保護者が集まり、たくさんの遊びのコーナーを心行くまで楽しみました【6月】



ウォーキング（延期）↑

6月のウォーキングは雨天のため10月8日（日曜日）に延期しました。改めてご案内いたします

7月～

※日程や内容については今後変更になる場合もあります。詳細は、手稲鉄北まちづくりセンターにお問い合わせください。

手稲土功川美化活動（7/1）

地域住民が河川敷で清掃活動を行いました。

手稲土功川生物観察会（7/7）

前田北小学校の児童が身近な自然について学びました。⇒右写真

山口団地夏まつり（7/16）

山口団地連合自治会主催の夏まつりが「山口公園」で開催されます。

あけぼの夏まつり（7/22）

手稲曙連合町内会主催の夏まつりが「イオンSC手稲山口店駐車場」で開催されます。

避難場所運営研修（7/27）

自主防災力向上のための研修会が「手稲鉄北小学校」で開催されます。

避難所開設運営実地研修（8/3）

「稲陵中学校」で避難所の運営上の課題について意見交換を行います。

盆踊り大会（8/14～15）

手稲稲山連合町内会主催の夏まつりが「前田ライラック公園」で開催されます。

北海道マラソン 2017（8/27）

マラソンコースで手稲鉄北地区の住民 220 人による給水ボランティアが行われます。

園芸講習会（9月上旬）

秋に向けた花壇の管理、害虫対策のポイントなどについて学びます。

セラピードッグふれあい体験（9月中旬）

手稲鉄北まちづくり協議会主催で開催される、犬とのふれあい体験事業です。

ていぬペタンクパネル展、スポーツレクリエーション（9月下旬）

JR手稲駅自由通路「あいくる」でのパネル展や手稲区体育館でゲームを体験します。

ウォーキング大会（10/8）

6月25日開催予定だったウォーキング大会は雨天のため10/8に延期になりました。

交通安全講習会（10月ころ）

交通安全をテーマに講習会を開催します。

生ごみ堆肥化講習会（10月ころ）

生ごみを減らして堆肥に活用する方法を学びます。

ソフトバレーボール大会（10月中旬）

参加者がチームに分かれて競います。

ひまわりコンサート（11/4）

稲陵中学校で開催されるコンサートです。

てつほくあそびねっと（11/25）

手稲鉄北小学校で「ていぬペタンク」競技を行います。

もちつき大会（11/18、12/2）

今年も稲陵中学校と前田北小学校で開催します。

歩くスキー（3月）

歩くスキーで健康づくりをしましょう。

マイタウンマイフラワー講習会（3月）

春に向けた花苗の育て方を学びます。



前田北小学校4年生児童57人が参加した手稲土功川生物観察会（7/7）



昨年度の「てつほくあそびねっと」の様子



昨年度の「歩くスキー」の様子

地震による津波はどこまで来るのでしょうか？

「津波浸水想定の見直しに係る説明会」

北海道が日本海沿岸の地震による津波浸水想定の見直しを行いました。その概要について、5月27日（土曜日）に札幌市危機管理対策室の職員による説明会が開催されました。

【手稲鉄北まちづくり協議会】



札幌市内への津波浸水は手稲山口の一部を想定

東日本大震災を契機に、北海道による日本海沿岸の想定最大津波に伴う浸水想定の見直しが行われ、平成29年2月に公表されました。

札幌市においては、手稲区手稲山口の一部に浸水が想定されていますが、そこは「バツタ塚」に近接する場所で、人家など建物のない区域です。

また、海岸の河口から河川が逆流を起こします。新川は「第一新川橋(国道337号)」付近まで逆流しますが、堤防は越えないとのことでした。

【説明会で配布された資料を一部抜粋した図】

配布された資料はカラー版のため、浸水想定範囲は「赤色で表示」となっていますが、この図では海岸線の黒っぽい部分が該当します。

なお、北海道のホームページには、この資料と同じ地図が掲載されています。また、日本海沿岸の他地域の浸水予想も見ることができます。

【アドレス】

http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/sbs/nihonkai_tsunami-sinnsuisoutei.htm

または「北海道」「津波浸水想定」で検索しても見つかります。

これは、あくまで“想定”によるものです。災害は時として“想定外”のことが起こり得ますので、油断することなく備えましょう。



©TEINE WARD SAPPORO